



A 試合会場レポート

試合番号 102

開催日 2020/01/11

第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会女子 会場：武蔵野の森 総合スポーツプラザ

観客数： 8,000	開始時間： 12:45	終了時間： 14:51	試合時間： 02:06	主審： 上土谷 政高	副審： 勝又 怜子
------------	-------------	-------------	-------------	------------	-----------

古川学園高等学校

監督：岡崎 典生
コーチ：渡辺 将嵩

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	20	第1セット 【 00:25 】	25
	25	第2セット 【 00:22 】	14
	25	第3セット 【 00:24 】	17
	21	第4セット 【 00:26 】	25
	15	第5セット 【 00:17 】	12

ポイント 【】 内はセット時間
() 内は交代選手

共栄学園高等学校

監督：中村 文哉
コーチ：辻村 夏子

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<p><監督コメント></p>

20	野呂	バルデス	第1セット	村田	小山	25
	()	()		()	()	
	上沢	王		衣笠	菊地	
(檜野)	()	()	()	()		
奥村	杉木	堤	付	内藤		
()	()	(仲田)	()	()		
リベロ： 遠藤 (生) 深沢		リベロ： 竹内				
25	野呂	バルデス	第2セット	衣笠	村田	14
	()	()		()	()	
	上沢	王		堤	小山	
()	()	()	()	()		
奥村	杉木	付	菊地	永井		
()	()	(内藤)	()	()		
リベロ： 遠藤 (生) 深沢		リベロ： 竹内				
25	野呂	バルデス	第3セット	村田	小山	17
	()	()		()	()	
	上沢	王		衣笠	菊地	
()	()	()	()	()		
奥村	杉木	堤	付	内藤		
()	()	()	()	()		
リベロ： 遠藤 (生) 深沢		リベロ： 竹内				
21	野呂	バルデス	第4セット	衣笠	村田	25
	()	()		()	()	
	上沢	王		堤	小山	
(檜野)	()	()	()	()		
奥村	杉木	付	菊地	内藤		
()	()	(内藤)	()	()		
リベロ： 遠藤 (生) 深沢		リベロ： 竹内				
15	野呂	バルデス	第5セット	衣笠	村田	12
	()	()		()	()	
	上沢	王		堤	小山	
(檜野)	()	(永井)	(栗田)			
奥村	杉木	付	菊地	内藤		
()	()	(内藤)	()	()		
リベロ： 遠藤 (生) 深沢		リベロ： 竹内				

<p><監督コメント></p>

<要約レポート>

女子準決勝第2試合は、共栄学園高校（東京）と古川学園高校（宮城）の春高常連校の対戦となった。

第1セット、共栄学園は、古川学園のエース・バルデスを、共栄学園・付のブロックを中心に徹底マーク。効果的な仕事をさせなかった。また、共栄学園のキャプテン村田のスパイク、小山の移動攻撃、付のクイック等で終始リードを保ちこのセットを取った。

第2セット、最初のテクニカルタイムアウトまで一進一退の攻防であったが、共栄学園が集中力をきらしてしまふ。攻める手を休めなかった古川学園がこのセットをものにした。

第3セット、共栄学園の4連続得点で始まる。流れに乗りそうに見えたが、最初のタイムアウト以降、サーブレシーブが乱れ、要所でミスが出てしまふ。古川学園は、バルデスのライト攻撃や、野呂の巧みなサイド攻撃で点数を重ね、危なげなくこのセットを取った。

第4セット、終盤まで息詰まる一進一退のゲームであった。抜け出したのは共栄学園。最後にリリーフサーバー、内藤の効果的なサーブが決まり、このセットを奪取。意地を見せた。

最終セットは、序盤から終始古川学園が頭ひとつリードしていく展開。最後はバルデスがライトからスパイクを決めて勝利を勝ち取った。共栄学園は古川学園の攻撃を研究し、ブロックやレシーブで繋ぎ、多種多様な攻撃パターンで攻めた。しかし、古川学園の野呂が攻守に頑張りを見せ、バルデスは徹底マークされる中、一人で38得点をあげる活躍を見せ、2010年以降の決勝へと駒を進めた。

作成者：高橋 亘